

連合アクション街頭行動を実施

2021春闘「コロナ禍の影響による雇用、労働環境の改善」 格差是正と差別のない社会へ!



挨拶する今野会長

連合福島は、この程2月10日(水)17時15分より福島駅前エスタビル前と同日18時からはMAXふくしま芝公園近辺2カ所にて「連合アクション県中央街頭行動」を実施した。11月に続いて3回目の取り組みとなる。

まず、連合福島を代表して今野 泰会長は、「いよいよ2021春闘を迎える。連合福島は、とりわけ2点を重視して臨みたい。1点目は、コロナ禍に経済が悪化、雇用・労働環境の改善が求められ、ウィズコロナ・アフターコロナに円滑な



ディスタンス確保でチラシ配布

働き方をしっかりとすすめる。テレワーク、ジョブ型雇用、70歳までの雇用措置がすすむなど、ドラスティックな働く方の変革にあって、何より重視すべきは人・働く者を中心にした改革である。同一労働同一賃金の実効性も求められ、広範な視点に立ちこの春闘に臨んでいく。もう1点は、あらゆる格差解消、経済の再生に向けた取り組み。様々な指標から中央と地方格差、男女間や雇用形態間格差が生じている、これら改善することが重要となる。全組合員がしっかりと認識し、取り組んでいく。」

また、コロナ感染によって医療崩壊が危惧される中、大震災から10年、国内外からいただいた支えに対する感謝と、命や健康を守る医療現場、その仲間に「どうもありがとうを伝える『DOもーバッジプロジェクト』の取り組みを展開する。差別や中傷に苦しんだ県民として、社会にメッセージを発信する連合福島の運動にご理解ご協力を賜りたい。」と訴えた。

続いて、連帯して駆けつけていただいた、「立憲民主党福島県総支部連合会から金子恵美代表」、さらに「社会民主党福島県連合から紺野長人代表」、それぞれから心強いあいさつをいただいた。

今回の行動も、コロナ禍を踏まえ、適切な間隔を保持し、往来する方にチラシなどの直接配布を避け持ち帰っていただくような配慮により、市民の皆様のご理解・ご協力のお陰様で実行することができました。感謝し報告とします。



立憲民主党福島県総支部連合会金子恵美
代表より連帯の挨拶



社会民主党福島県連合紺野長人代表より
連帯の挨拶